

## はじめに

昨年来の米国サブプライムローン問題に起因する世界同時株安、原油・食糧価格の高騰、地球温暖化による気候変動の猛威等から、世界経済は、大きく減速する局面に入りました。地球レベルでの不安要因が増加するなかで、国内においても、政治の停滞、急激な円高ドル安、輸出主導の経済成長の頭打ち、輸入資源の価格急騰による物価上昇、所得格差の拡大、地域社会の高齢化、社会性や公共性の疲弊等、今日、様々な憂慮すべき事象が顕在化しつつあります。

目を教育界に転じると、安倍前政権が推進した「教育再生」では、財務省主導の財政再建の前に、改正教育基本法の掲げる私立学校教育の振興や教育振興基本計画に係る予算拡充は先送りされ、一方、教育人口の中核を占める若年層の減少は毎年確実に進行しています。私学は、定員割れや帰属収支レベルでの赤字の増大等、ますます厳しい経営環境に立たされていくものと予想されます。

今後、学園の将来を見据えていく上で、われわれ関係者は、教育を取り巻く環境の新たな変化の兆しを見逃すことなく、適切な対応策を立てることが求められます。

現代女性の高度な能力開発の期待に応えるため、学園が行ってきた女子高等教育の改革は、人文科学系の単一の教育領域を、他の女子大にない社会科学系の教育領域を加えて異分野にまたがる複数の教育領域に転換するとともに、短期大学部と女子大学という並列的な大学設置のあり方を一本化し、中学高校、大学学部及び大学院研究科という直列的な設置に再構築することにより、より高い教育力の獲得を図るものでありました。また、中学高校も、生徒の生活自律・学習自立の教育理念を立て、平成20年度から面倒見がよく大学受験にも高度に対応できる一貫教育体制にシフトして、公立校の進化にも負けない、選ばれる私立として高い競争力確保を目指すこととなりました。

このように学園は、明治維新以来、いち早く女性に対する高度な教育の重要性を見抜き先導してきた跡見の伝統ある教育精神を今日も追求し続けております。この方向性をより確かなものとするため、平成20年10月を期して、短期大学部廃止後の大学茗荷谷キャンパスを新たな志願者開拓のための都心キャンパスとすることを目指し、9階建ての新棟を建築中であります。中学高校でも、中学1年8クラス編成等による教育課程の改革に対応するため、平成20年6月を期して、グランド東側に2階建ての教室棟建築に着手いたしました。また、教学とともに学園の将来を支える事務分野についても、茗荷谷と新座の2キャンパスを同時に視野に入れた新たな基幹業務システムの活用を徹底し、業務処理の迅速化と組織運営の効率化を進めて参りました。

日本における内外の厳しい環境は、今後の学園経営にも大きな影響を及ぼしてまいります。特に最近における世界経済の不安定化と国内景気の後退は、これまで以上に注意する必要があります。学園としては、如何なる環境の変化にも対応できる健全な財務を維持するため、大きな戦略的投資である新棟等の完成後であっても、些かの不安も生じることのない財務運営を図っていく所存であります。

## ・学校法人跡見学園寄附行為

大正二年十一月二十一日制定

(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十

一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

## ・法人の概要

### 1. 学校法人の沿革（概要）等

- 明治8年1月8日 学祖跡見花蹊、東京神田に跡見学校を開設
- 21年1月8日 小石川柳町に校舎移転
- 大正2年11月21日 財団法人跡見女学校設立認可
- 昭和8年1月11日 小石川大塚校舎移転
- 19年4月1日 高等女学校令により跡見女学校を跡見高等女学校に改称
- 21年3月30日 跡見高等女学校専攻科設置認可（修業年限3年 文科国文、家政科）
- 22年4月1日 跡見学園中学部設置認可（学制改革による）
- 23年3月10日 跡見学園高等学校設置認可（学制改革による）
- 24年3月31日 跡見高等女学校廃止認可
- 24年4月1日 跡見学園高等学校専攻科（文科：国文・英文課程、家政科：家政保健・生活芸術課程）及び別科設置認可
- 25年3月14日 跡見学園短期大学設置認可（文科国文・家政科〔家政保健・生活芸術課程〕修行年限2年）
- 25年3月31日 跡見学園高等学校別科廃止
- 25年11月10日 跡見学園中学部を跡見学園中学校に改称
- 26年2月21日 財団法人跡見女学校より学校法人跡見学園に組織変更認可
- 26年3月31日 跡見学園高等学校専攻科生徒募集停止
- 27年2月20日 跡見学園短期大学生生活芸術科増設認可
- 29年4月1日 跡見学園高等学校専攻科廃止届
- 33年2月6日 跡見学園高等学校・中学校の「6年制一貫教育」体制の実施
- 40年1月25日 跡見学園女子大学（文学部国文学科、美学美術史学科）設置認可
- 41年12月26日 跡見学園女子大学文学部英文学科増設認可
- 49年1月23日 跡見学園女子大学文学部文化学科増設認可
- 50年10月21日 跡見学園創立100周年記念式典挙行
- 57年1月16日 跡見学園短期大学入学定員変更、文科英文専攻課程設置認可
- 60年12月25日 跡見学園短期大学文科英文専攻課程に臨時的定員増認可
- 平成2年9月28日 跡見花蹊生誕150周年記念式典挙行
- 2年12月21日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増認可
- 6年8月30日 跡見学園短期大学から跡見学園女子大学短期大学部に名称変更認可
- 7年11月11日 跡見学園創立120周年記念式典挙行
- 7年11月15日 跡見学園女子大学花蹊記念資料館開館
- 11年10月20日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増延長認可  
跡見学園女子大学短期大学部に臨時的定員増延長認可
- 13年5月29日 跡見学園女子大学文学部4学科（国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科）を改組し、文学部人文学科の設置認可

- 開設時期 平成14年 4月 1日
- 13年 8月 1日 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科設置認可  
開設時期 平成14年 4月 1日  
跡見学園女子大学短期大学部文科収容定員増に係る学則変更認可  
変更時期 平成14年 4月 1日  
跡見学園女子大学短期大学部文科英文専攻課程の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可  
変更時期 平成14年 4月 1日  
跡見学園女子大学短期大学部家政科収容定員減に係る学則変更認可  
変更時期 平成14年 4月 1日  
跡見学園女子大学短期大学部生活芸術科収容定員減に係る学則変更認可  
変更時期 平成14年 4月 1日
- 13年12月20日 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科設置認可  
開設時期 平成14年 4月 1日
- 14年 3月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科の学生募集停止届出  
実施時期 平成14年 4月 1日
- 14年 4月 1日 跡見学園女子大学文学部人文学科・臨床心理学科、マネジメント学部マネジメント学科開設
- 15年 7月11日 跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程及び英文専攻課程名称変更届出  
跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程・英文専攻課程及び家政科の収容定員変更届出
- |                         | 入学定員        |
|-------------------------|-------------|
| 文科国文専攻課程 → 言語文化科日本語専攻課程 | - 10名 (60名) |
| 文科英文専攻課程 → 言語文化科英語専攻課程  | + 5名 (100名) |
| 家 政 科                   | 5名 (100名)   |
- 変更時期 平成16年 4月 1日
- 15年 7月22日 学校法人跡見学園寄附行為変更届  
名称変更：短期大学部文科 → 短期大学部言語文化科  
文科国文専攻課程 → 言語文化科日本語専攻課程  
文科英文専攻課程 → 言語文化科英語専攻課程
- 15年 8月 1日 跡見学園女子大学短期大学部収容定員関係学則変更届出書の受理通知受領（文部科学省大学課短期大学係）
- 16年11月30日 跡見学園女子大学大学院人文科学研究科日本文化専攻・臨床心理学専攻設置認可  
開設時期 平成17年 4月 1日
- 17年 3月23日 評議員会・理事会において可決承認  
跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置  
跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置  
以上開設時期 平成18年 4月 1日  
跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止  
実施時期 平成18年 4月 1日
- 17年 4月 1日 代表権者確認の変更登記

- 「私立学校法の一部を改正する法律」(平成16年法律第42号)の施行に伴う変更登記
- 17年4月5日 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置届出  
跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置届出  
跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止の報告  
以上開設・実施時期 平成18年4月1日
- 17年6月21日 跡見学園第19期役員・評議員改選、選任完了
- 17年7月29日 跡見学園女子大学文学部人文学科、臨床心理学科及びマネジメント学部マネジメント学科の収容定員変更認可  
人文学科 1,440名  
臨床心理学科 480名  
マネジメント学科 880名  
変更時期 平成18年4月1日
- 17年10月20日 跡見学園130年史『跡見学園 130年の伝統と創造』刊行
- 17年11月12日 跡見学園創立130周年記念式典挙行
- 17年12月5日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科マネジメント専攻設置認可  
開設時期 平成18年4月1日
- 17年12月13日 評議員会・理事会において可決承認  
「跡見学園女子大学短期大学部の施設拡充計画(概要)」  
工期 平成19年4月～平成20年9月
- 17年12月20日 『跡見花溪日記』刊行(全5巻のうち 第1巻～第4巻まで刊行)
- 18年3月27日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科設置計画の変更協議書の提出(文部科学省大学設置室法人係)
- 18年9月30日 跡見学園女子大学文学部美学美術史学科廃止  
届出日 平成18年9月28日
- 18年12月5日 「大学教員組織の整備」 学校教育法を一部改正する法律(平成17年法律第83号)  
助教授に代えて准教授を設けるとともに、助教を新設する。  
大学及び大学院の学則を変更することを評議員会、理事会において承認可決し、文部科学省に提出  
施行日 平成19年4月1日
- 19年3月27日 理事会・評議員会において可決承認  
短期大学部の廃止及びそれに伴う寄附行為の変更について決議
- 19年3月31日 跡見学園女子大学短期大学部閉学(文部科学大臣の認可を待って廃止予定)  
跡見学園女子大学文学部英文学科廃止  
届出日 平成19年3月29日
- 19年4月20日 『跡見花溪日記』第5巻刊行 『別巻 参考資料・補遺編』として刊行
- 19年4月23日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可申請
- 19年5月22日 跡見学園女子大学文学部文化学科廃止  
届出日 平成19年5月21日
- 19年6月11日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可  
短期大学部廃止に伴う寄附行為の変更登記  
登記日 平成19年6月19日

短期大学部廃止に伴う寄附行為変更登記完了の届出

届出日 平成19年 7月 2日

19年 9月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科廃止

届出日 平成19年 9月27日

20年 3月25日 理事会・評議員会において可決承認

跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件について決議

跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件について決議

20年 3月31日 跡見学園鶴原寮閉寮

## 2. 設置する学校・学部・学科等

### (1) 女子大学

創設年度 = 昭和40年度

#### 1) 大学院

(単位：名)

研究科・専攻名		開設年度	入学定員	編入学 定 員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	学生数 (19年5月1日)
人文科学研究科	日本文化専攻	平成17年度	8		5	16	12
	臨床心理学専攻	平成17年度	12		12	24	26
マネジメント研究科	マネジメント専攻	平成18年度	15		6	30	11
合 計			35		23	70	49

#### 2) 学 部

(単位：名)

学 部・学科名		開設年度	入学定員	編入学 定 員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	学生数 (19年5月1日)
文学部	国文学科	昭和40年度					1*
	文化学科	昭和49年度					0*
	人文学科	平成14年度	360		445	1,520	1,789
	臨床心理学科	平成14年度	120		129	440	506
	コミュニケーション 文化学科	平成18年度	90		117	180	200
マネジメント学部	マネジメント学科	平成14年度	215	10	246	840	942
	生活環境マネジメント学科	平成18年度	80		85	160	135
	合 計		865	10	1,022	3,140	3,573

\* 平成14年度学生募集を停止し、美学美術史学科は平成18年 9月30日、英文学科は平成19年 3月31日、文化学科は平成19年 5月22日、国文学科は平成19年 9月30日にそれぞれ廃止となった。

## (2) 女子大学短期大学部

創設年度 = 昭和25年度

平成18年度学生募集を停止し、平成19年3月31日をもって全ての学生が卒業したことにより、平成19年4月23日に文部科学大臣に対して跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う学則変更認可申請及び寄附行為変更認可申請を提出し、平成19年6月11日付で廃止が認可された。

## (3) 高等学校

創設年度 = 昭和23年度

(単位：名)

学科・課程名	開設年度	入学定員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	生徒数 (19年5月1日)
全日制課程普通科	昭和23年度	300	266	900	797

## (4) 中学校

創設年度 = 昭和22年度

(単位：名)

開設年度	入学定員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	生徒数 (19年5月1日)
昭和22年度	300	279	900	829

## 3. 学園役員・評議員(第19期)

(平成20年3月31日現在)

## (1) 理事 13名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
跡見 純弘	理事長	菊池 慶子	卒業生
山崎 一穎	常務理事、中学校・高等学校長	奥村 良子	卒業生
吉田 一恵	常務理事、法人事務局長	宮本 文昭	保証人
嶋田 英誠	女子大学長	日下部 禧代子	学識経験者
山田 徹雄	女子大学副学長	佐藤 正昭	学識経験者
島野 卓生	中学校・高等学校主事	伊藤 大一	学識経験者
唐沢 徹	女子大学教授		

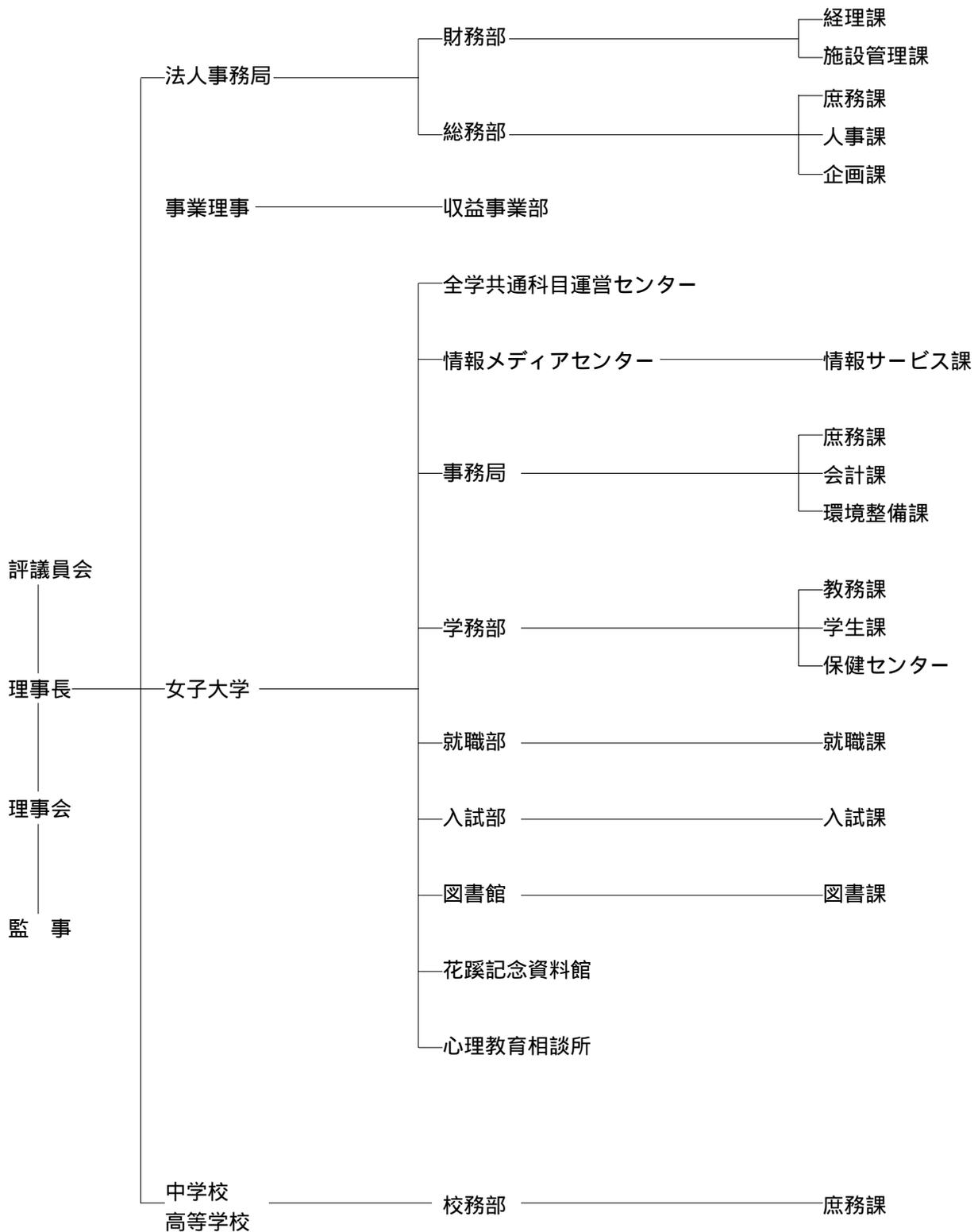
## (2) 監事 2名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
塩谷 睦夫	学識経験者	金井塚 清	学識経験者

## (3) 評議員 35名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
唐沢 徹	女子大学教授	嶋田 英誠	女子大学長
山本 貞雄	女子大学教授	山崎 一穎	中学校・高等学校長
倉石 あつ子	女子大学教授	山田 徹雄	女子大学副学長
花澤 英夫	中学校・高等学校教諭	島野 卓生	中学校・高等学校主事
植松 茉莉子	中学校・高等学校教諭	吉田 一恵	法人事務局長
堀 雅裕	法人事務局次長	石上 恵一	保証人
菊池 慶子	卒業生	赤須 惣一	保証人
木村 安子	卒業生	佐藤 剛	保証人
岡田 章子	卒業生	山崎 正樹	保証人
飯沼 三枝子	卒業生	安永 明浩	保証人
奥村 良子	卒業生	小林 真智郎	保証人
山下 陽枝	卒業生	奥泉 辰夫	保証人
萬葉 洋子	卒業生	宮本 文昭	保証人
田中 恵美子	卒業生	佐藤 正昭	学識経験者
小森 いと子	卒業生	日下部禧代子	学識経験者
藤田 理恵子	卒業生	湧井 恭行	学識経験者
福岡 みつゑ	卒業生	中島 健一	学識経験者
大塚 和子	卒業生		

#### 4. 事務組織 (平成19年4月1日現在)



## 5. 専任教職員の概要（平成19年4月1日現在）

### (1) 跡見学園女子大学

学長 嶋田 英誠

副学長 山田 徹雄

#### 1) 大学院

人文科学研究科(学部専任教員 14名兼任)

マネジメント研究科(学部専任教員 10名兼任)

#### 2) 学部・学科

専任教員 合計 88名

##### イ) 文学部人文学科

教授 29名

准教授 5名

専任講師 2名

##### ロ) 文学部臨床心理学科

教授 7名

准教授 5名

専任講師 0名

##### ハ) 文学部コミュニケーション文化学科

教授 9名

准教授 1名

専任講師 0名

##### ホ) マネジメント学部マネジメント学科

教授 12名

准教授 8名

専任講師 1名

##### ヘ) マネジメント学部生活環境マネジメント学科

教授 5名

准教授 3名

専任講師 1名

専任職員 合計 66名

イ) 事務職員 60名

ロ) 技術職員 4名

ハ) 用務職員 2名

### (2) 跡見学園中学校・高等学校

校長 山崎 一穎

主事 島野 卓生

1) 専任教員 合計 64名

教諭 60名

専任講師 4名

2) 専任職員 合計 17名

事務職員 13名

技術職員 1名

用務職員 3名

### (3) 法人事務局

法人事務局長 吉田 一恵

法人事務局次長 堀 雅裕

1) 専任職員 合計 24名

(収益事業部2名を含む)

事務職員 22名

技術職員 1名

用務職員 1名

## 6 . 各機関の所在地

### ( 1 ) 跡見学園女子大学

住 所 〒352 - 8501 埼玉県新座市中野1 - 9 - 6  
 電 話 048 - 478 - 3333 ( 庶務課直通 )  
 F A X 048 - 478 - 3111 ( 庶務課 )

### ( 2 ) 跡見学園中学校・高等学校

住 所 〒112 - 8629 東京都文京区大塚1 - 5 - 9  
 電 話 03 - 3941 - 8167 ( 庶務課直通 )  
 F A X 03 - 3941 - 8685 ( 庶務課 )

### ( 3 ) 跡見学園法人事務局

住 所 〒112 - 8629 東京都文京区大塚1 - 5 - 9  
 電 話 03 - 3941 - 8161 ( 庶務課直通 )  
 F A X 03 - 3941 - 8162 ( 庶務課 )

## 7 . 校 外 施 設

### ( 1 ) 北軽井沢研修所

住 所 〒337 - 1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地蔵堂1991 - 92  
 電 話 0279 - 84 - 2362  
 F A X 0279 - 84 - 1178  
 収容人数 約80名  
 テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

### ( 2 ) 鶴原寮

住 所 〒229 - 5243 千葉県勝浦市鶴原901  
 電 話 0470 - 76 - 0107 ( F A X 兼 )  
 収容人数 約50名  
 臨海施設として、クラブ活動、ゼミ・研修などに活用できる。

( 平成20年3月31日閉寮 )

### ( 3 ) 学生寮

住 所 〒352 - 0011 埼玉県新座市野火止5 - 17 - 17  
 電 話 048 - 478 - 3337 ( F A X 兼 )  
 収容人数 133名  
 設 備 全室個室 ( 洋室 )  
 バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベット、電話、インターネットアダプタを完備  
 食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置  
 食 事 平 日 : 朝食・夕食  
 日・祝日 : 朝食のみ

## ・事業の概要

平成7年4月の短期大学名称変更を起点とする学園の女子高等教育改革は、平成19年6月11日の短期大学部廃止認可及び9月30日の文学部国文学科廃止により、法令的にも完結を見ることができました。

それに先立ち、4月3日からは短大西館の取り壊しが開始され、8月3日からは、短大西館敷地において女子大学新棟建築が着工され、工事は予定どおり順調に進んでいます。短大茗荷谷校地は、新棟完成を受けて、平成20年10月から大学後期課程の都心キャンパスとして生まれ変わる予定であります。

一方、中学校においても、平成19年12月11日に山崎校長の再任が決議され、平成20年度から新しい教育課程によって、面倒見がよく大学進学にも高度に対応する一貫教育体制への転換が図られることとなりました。この転換に対応すべく、平成20年3月25日には、中学校の教室棟増設が決議されたところであります。

この間、学園として予定された事業計画は漏れなく実行に移され、無事に完了されました。

教学関係で主な実施事項は、次のとおりであります。

短期大学の廃止（申請認可）

文学部文化学科の廃止（届出）

文学部国文学科の廃止（届出 文学部旧4学科の廃止完了）

大学後期課程3年への進級判定の実施

中学校の教育課程の再構築（面倒見がよく高度な大学受験にも対応）

管理運営関係で主な実施事項は、次のとおりであります。

旧短期大学部西館解体の着工

女子大学新棟建築の着工

中学校高等学校教室棟増設の決議

鶴原寮の建物解体の決議

固定資産の減価償却における耐用年数及び残存価額の改訂に係る経理規程改正の決議

アクセス数増大に対応した大学基幹業務システムにおけるポータルシステムの拡充

法人基幹業務システム（財務・人事）における人件費、旅費及び備品管理のシステム間連携の整備

大学茗荷谷キャンパス開設のための東館施設改修工事の実施（図書館改修、バリアフリー工事等）

以上のとおり、平成19年度は、短期大学名称変更以来の教学改革を踏まえ、競争的環境の中で高い教育力を発揮することができる教育体制への移行に備えた、新しい戦略的な教育施設の準備を進める一年となりました。

### <平成19年度事業の主な流れ>

19年 4月3日 跡見学園女子大学短期大学部西館解体工事着工

19年 4月5日 跡見学園女子大学新棟建築工事の地鎮祭

19年 4月20日 『跡見花蹊日記』第5巻刊行 『別巻 参考資料・補遺編』として刊行

19年 4月23日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可申請

19年 5月22日 跡見学園女子大学文学部文化学科廃止

届出日 平成19年5月21日

19年 6月11日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可

跡見学園女子大学短期大学部廃止に伴う寄附行為変更の変更登記

登記日 平成19年6月19日

跡見学園女子大学短期大学部廃止に伴う寄附行為変更の変更登記完了の届出

- 届出日 平成19年7月2日
- 19年8月3日 跡見学園女子大学新棟の建築着工
- 19年9月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科廃止
- 届出日 平成19年9月27日
- 平成14年度から人文学科に改組された文学部旧4学科の廃止が完了
- 19年12月11日 理事会・評議員会において可決承認
- 山崎校長の再任(任期4年)について決議
- 跡見学園中学校高等学校の学則改正について決議
- 平成20年度からの教育課程再編(中学1年8クラス編成等)
- 20年3月25日 理事会・評議員会において可決承認
- 跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件について決議
- 跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件について決議
- 学校法人跡見学園経理規程の改正について決議
- 固定資産の耐用年数及び残存価額の改訂
- 20年3月31日 跡見学園鶴原寮閉寮

## 1. 法人事務局

( 印は平成19年度事業計画事業)

### (1) 平成19年度理事会・評議員会

#### 1) 理 事 会

開 催 日	会 議	議 案
平成19年5月29日(火)	第335回	1. 平成18年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2. 平成18年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3. 跡見学園女子大学文学部の文化学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		4. 寄附行為第19条の2第1号に規定する評議員の補欠選任に関する件
平成19年11月1日(木)	第336回	1. 跡見学園女子大学文学部の国文学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		2. 平成19年度跡見学園収支補正予算に関する件
		3. 平成20年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成19年12月11日(火)	第337回	1. 跡見学園中学校・高等学校校長の再任に関する件
		2. 平成20年度跡見学園中学校並びに高等学校の学則変更に関する件
平成20年3月25日(火)	第338回	1. 平成20年度跡見学園事業計画に関する件
		2. 平成20年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		3. 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		4. 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件
		5. 跡見学園中学校学則の改正に関する件
		6. 跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件
		7. 跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件
		8. 学校法人跡見学園経理規程の改正に関する件

## 2) 評議員会

開催日	会議	議案
平成19年 5月29日(火)	第 292回	1. 平成18年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2. 平成18年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3. 跡見学園女子大学文学部の文化学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為変更に関する件
		4. 寄附行為第19条の2第4号に規定する評議員の補欠選任に関する件
		5. 寄附行為第19条の2第5号に規定する評議員の追加選任に関する件
		6. 寄附行為第8条第2項に規定する理事の補欠選任に関する件
平成19年11月 1日(木)	第 293回	1. 跡見学園女子大学文学部の国文学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		2. 平成19年度跡見学園収支補正予算に関する件
		3. 平成20年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成19年12月11日(火)	第 294回	1. 平成20年度跡見学園中学校並びに高等学校の学則変更に関する件
平成20年 3月25日(火)	第 295回	1. 平成20年度跡見学園事業計画に関する件
		2. 平成20年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		3. 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		4. 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件
		5. 跡見学園中学校学則の改正に関する件
		6. 跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件
		7. 跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件

(2) 跡見学園女子大学短期大学部の廃止 

短期大学部は、平成18年度より学生募集を停止していたが、平成19年 3月31日をもって全ての学生が卒業したことに伴い、平成19年 4月23日に短期大学部の廃止を文部科学大臣に認可申請し、平成19年 6月11日付で廃止が認可された。

## (3) 人事関係

1) 業務改善・労務管理に関する外部コンサルティング実施 

大学の業務及び労務管理の改善を目的に研修が実施された。

コンサルティング会社：ヒューマンリンク社

管理職研修

## イ) 合宿研修

実施月日 平成19年 8月27日(月)～28日(火)

開催場所 セミナーハウス フォーリッジ

参加者数 14名

## ロ) フォローアップ研修

実施月日 平成20年 3月27日(木)

開催場所 セミナーハウス フォーリッジ

参加者数 17名

主任研修

## イ) 合宿研修

実施月日 平成20年3月24日(月)～25日(火)  
 開催場所 セミナーハウス フォーリッジ  
 参加者数 12名

#### (4) 経理関係

##### 1) 学校法人跡見学園経理規程の改正について

これまで学園の固定資産の減価償却については、学校法人跡見学園経理規程(以下「経理規程」という。)第33条の別表1「固定資産の耐用年数・残存価額」に定める耐用年数・残存価額の基準に従って実施してきたが、学園が委嘱する公認会計士より、現行の耐用年数及び残存価額について、資産価値の実態に照らして適切か否か検討してはどうか、との助言があったのを受け、あらためてこれらについて見直した結果、固定資産の評価をより適正妥当に計算書類に反映させ、公開する財務情報の信頼性をなお一層高めるため、日本公認会計士協会の学校法人委員会報告第28号「学校法人の減価償却に関する監査上の取扱い」(平成13年5月14日)に準じて耐用年数を改訂するとともに、残存価額についても固定資産の種類に関わらず、すべて0円に改めることとした。

この改正に伴い、平成19年度以前に償却が終了している固定資産の残存価額については、計算書類への影響を抑制するため、平成20年度から年度ごとに段階的に償却を行い、平成22年度までの3年間で0円とすることとした。

##### 2) 支払伝票の締め日の変更について

平成19年度より稼働した新財務システムにより、会計業務を一元化し、茗荷谷キャンパス・新座キャンパスを合わせた学園全体の伝票チェック・支払処理は、法人で集中的に行うことになった。学園として、一段と厳格化する会計監査に十分に耐え、内部牽制やアカウントビリティーの要請に係る社会的責任にも応えていく必要の観点から、支払伝票及び証憑書類のデータチェックや会計原則との照合を的確に行い、学園全体における予算執行及び最終的な検証をより確実なものとするため、支払伝票の毎月の締め日を20日から15日に切り替えることを平成20年2月18日(月)の経営会議において決定した。

実施年月日：平成20年4月1日

#### (5) 監査・調査

##### 1) 平成18年度私立大学等経常費補助金に係る対象事業の実施状況等調査

調査機関 日本私立学校振興・共済事業団  
 調査担当者 2名(助成部寄付金課、助成部補助金課)  
 調査年月日 平成19年10月12日(金)  
 対象機関 女子大学及び法人事務局  
 調査内容 会計検査院が監査の対象とする補助金対象事業の実施状況等調査

##### 2) 東京都監査

監査機関 東京都監査事務局監査第一課  
 監査担当者 2名(監査事務局監査第一課)  
 監査年月日 平成19年10月29日(月)  
 対象機関 中学校・高等学校及び法人事務局  
 監査内容 中学校・高等学校に対する平成17年度及び平成18年度における東京都の私立学校教育助成金調査表(B表)の内容の検証

## 3) 都税事務所の立ち入り調査

監査機関	東京都文京都税事務所
監査担当者	2名(文京都税事務所固定資産税課固定資産税係)
監査年月日	平成20年2月26日(火)
監査内容	固定資産税・都市計画税の非課税調査

## (6) 学園広報関係 (印は平成19年度事業計画事業)

## 1) 『プロッサム』の発行 (13,848,000円)

学園広報誌として7月(23号)・1月(24号)に各々65,000部発行した。主な配布先は、生徒・学生、学園卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。

学園の財務情報を公開するほか、各設置校の最新の情報を提供した。

## 2) 『跡見学園報』の発行(410,130円)

学園報第44号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成18年度事業報告及び平成19年度事業計画を公表した。

平成20年1月、学園報第45号を発行した。

## 3) 学園の情報公開

学園の情報公開については、平成18年度より『跡見学園報』及び『プロッサム』に加え学園ホームページ上でも行っているが、平成19年度からは、新たに事業報告書、計算書類及び当該年度の全ての学部等ごとの在学生数の公開が加えられることとなった。

## 4) 大型ポスター企画(第2回) (12,400,000円)

昨年度末から年度を越えてB0版のポスターを主要駅に掲出した。

掲出期間 平成19年(3月30日~)4月1日~4月12日

掲出場所 池袋、高田馬場、新宿、代々木、渋谷、新橋、東京、秋葉原、上野、中野、北千住、大宮、蒲田のJR各駅

## 5) 広報委員会による『Dual Campus』の告知広告

新棟完成に伴う平成20年10月からの文京区・茗荷谷キャンパスの始動を積極的にPRするため、平成20年6月からの東京メトロの副都心線が渋谷と志木間が1本でつながることにより、そのイメージをアルファベットの「A」の文字を使いデザインしたポスターを作成し、新座キャンパスと茗荷谷キャンパスとの距離が「近い」というイメージアップを計った。また、次年度に向けて、跡見学園中学校高等学校生徒300余名の協力を得てアンケートを実施し、「A」の文字デザインを入れたグッズの選定・詳細設計を開始した。

\*ポスター、グッズ作成広告会社：東急アド・コミュニケーションズ  
交通広告

## a. 城南地区、東急主要乗換駅掲載ポスター(4,263,000円)

掲出期間 平成19年11月5日(月)~11月18日(日)

平成19年11月26日(月)~12月2日(日)

掲出駅 Big10(B0版の10枚分の巨大ポスター)

東急東横線渋谷駅降車ホーム

B0版

城南地区限定の東急主要乗換5駅(自由が丘、武蔵小杉、菊名、二子玉川、溝の口)

## b. メトロ明治神宮前駅地下通路ポスター (105,890円)

掲出期間 平成19年12月28日(木)～平成20年1月6日(日)

掲出場所 明治神宮前駅原宿改札横広告枠

読売ウィークリー広告(500,000円)

掲載日・掲載ページ 平成19年12月22日号 裏表紙

平成20年1月7日号 目次対抗ページ

平成20年1月21日号 裏表紙

## 6) 跡見学園女子大学茗荷谷キャンパスリニューアル記念シンポジウム

新棟完成に伴う平成20年10月からの文京区・茗荷谷キャンパスの始動をPRするための広報活動の一環として開催した。

タイトル 跡見学園女子大学茗荷谷キャンパスリニューアル記念シンポジウム  
- 東京ライフ跡見 -

テーマ 『働く私のライフスタイル』

開催日 平成19年11月17日(土)

開催時間 14:00～16:00

会場 跡見小講堂

パネリスト 小谷実可子(スポーツキャスター)

進藤 晶子(フリーキャスター)

渡辺美和子(渡辺教具製作所取締役社長、学園中高・女子大学卒)

山崎 一穎(学園常務理事、中学校高等学校長、女子大学文学部教授)

## 7) Web環境の整備

学園ホームページにおけるスカラーオブマンス、校友メールマガジンの配信等の充実を図った。

## 8) 駅看板

11箇所の駅に広告を出した。(例年通り)

## 9) メトロ有楽町線護国寺駅の駅周辺案内「ナビタ」への学園情報掲出

女子大学茗荷谷キャンパスのオープンを控え、最寄り駅のひとつである東京メトロ有楽町線護国寺駅の駅周辺案内図「ナビタ」に学園情報を掲出した。

掲載内容 ・地図の所在地表記

・インデックス(写真、学園・学校名、電話等)

掲出期間 平成19年12月下旬から平成22年12月までの3年間

費用 掲出費 150,000円/年(税別)

制作費 20,000円(税別、初年度のみ)

## 10) 『跡見花溪日記』第5巻刊行

かねてより編纂作業を行っていた『跡見花溪日記』第5巻は、『別巻 参考資料・補遺編』として完成し、4月20日に納品された。

## (7) 施設設備・情報環境整備関係

## 1) 法人基幹業務システム更新の継続

データ処理から経営支援にも対応し得るシステムへの転換並びに事務効率向上を目的とする法人基幹業務システム(財務はエデュース、人事給与はカシオ)の2ヵ年再構築計画の最終年度にあたるもので、平成18年10月より順次新システムとして稼働させ業務を行っている。

システム間連携 (2,045,925円) 

財務システム(株式会社エデュース)及び人事・給与システム(カシオ計算機株式会社)の本稼働に伴い、システム間の連携により人件費支出伝票起票の省力化を図った。

旅費申請システム構築 (3,165,750円) 

平成19年4月より法人基幹業務システムのWeb財務システムが本稼働することに伴い、予算管理、予算執行システムがWeb上で全面稼働を開始した。これにより、金融機関の口座からの学納金収納が自動化された。また、旅費申請手続きもWeb化されることにより学内LANを通じて旅費を自動計算し申請できるようになった。さらに財務システムと人事・給与システムとの連携を図り、通勤区間と旅費区間の重複申請が生じないようなシステムにした。

備品管理システムの更新 (991,200円) 

新財務システムが本稼働することに伴い、備品管理システムも更新され、備品ラベルプリンタ及び備品ラベルハンディーターミナルを導入した。

2) 音羽駐車場の擁壁の改修工事  (未実施:平成20年度事業に延期)

音羽駐車場の擁壁について、大谷石積の擁壁が長年の雨水の浸食等により脆くなっているため、安全対策として改修工事を行う予定であったが、隣接するマンション建設工事の遅れにより平成20年度事業に延期する。

## 3) 学生寮の厨房機器更新工事 (2,324,700円)

学生寮の厨房に設置していた保冷庫や保温庫が長年の使用により老朽化したため、更新工事を行った。

対象機器: ショーケース・コールドテーブル・ウォーマーテーブル 各1台

## 4) 北軽井沢研修所の進入路樹木剪定 (840,000円)

北軽井沢研修所の入口から研修所までの樹木剪定を行った。

(8) 女子大学新棟建設関係  旧跡見学園女子大学短期大学部西館1) 旧跡見学園女子大学短期大学部西館の取り壊し 

短期大学部の閉学を受けて、平成19年4月3日から短期大学部西館の取り壊しを開始した。

2) 新棟建設の地鎮祭 

平成19年4月5日(木)午前11時より旧跡見学園女子大学短期大学部西館1階ホールにて、日本設計、鹿島建設及び学園関係者が集まって地鎮祭を執り行い工事の安全を祈願した。

## 3) 新棟建設に伴う埋蔵文化財の調査

調査会社 株式会社武蔵文化財研究所(東京都八王子市)

## 確認調査(立合)

調査場所 お茶の水女子大学の学生寮に隣接する敷地

調査面積 600m<sup>2</sup>

費用 5,397,000円

所要期間 平成19年6月20日～7月6日

所管 文京区教育委員会

## 本調査

調査場所 西側道路に面した敷地(新大塚公園側)

調査面積 340m<sup>2</sup>

費用 8,400,000円

所要期間 平成19年7月2日～7月13日

所 管 東京都教育委員会

調査結果

本調査における発掘の結果、桜田門外の変で暗殺された大老井伊直弼の後を継いだ陸奥の国磐城平藩主・老中安藤信正（安藤対馬守）の江戸下屋敷の遺構や地下室が確認された。

#### 4) 新棟建設工事の中間検査

(財)日本建築センターにより、改正後の建築基準法第7条の4第3項の規定による中間検査が11月15日(木)に実施され、適合基準に合格した。

### (9) 『衛生委員会』発足

過重な時間外勤務による健康障害を予防するため、法令の定めにより、学園に「衛生委員会」を設け、各キャンパスに「衛生管理者」を選任した。委員の構成については、各機関の勤務時間管理者のほか「衛生管理者」及び「産業医」を加えた。委員会事務局は法人事務局人事課とした。

平成19年11月28日(水)に第1回委員会を開催した。

### (10) はしか(麻疹)の流行対応

学生寮

管理人経由で寮生全員に罹患調査を配布した。既往、予防接種の有無について回答を提出させ、不明の学生については抗体検査を受診させた。結果により予防接種が必要な学生には受けさせるよう指導した。なお、管理人についても抗体検査を受けさせた。

女子大学

5月16日(水) 「はしか(麻疹)への対応について」注意喚起の学内掲示を行った。

5月17日(木) 保健師が学生寮において寮生に指導した。

5月23日(水) 教育実習生等への抗体検査義務化を決定。

5月25日(金) はしか対策に係る連絡会議で、職員の予防接種および罹患歴調査を決定。

” 学生のはしか患者1名発生の学内掲示を出した。

5月30日(水) 学生のはしか患者1名発生の学内掲示を出した。

6月11日(月) 学生のはしか患者2名完治の公示を掲出した。

中学校高等学校

5月 予防接種実態調査をし、第4支部より東京都に報告した。

2月 接種未経験生徒の保護者を対象に予防接種を勧めた。

## 2. 女子大学

( 印は平成19年度事業計画事業)

### (1) 平成19年度理事会・評議員会

#### 1) 学部等の改革

設置経過中の組織

##### イ) 文学部コミュニケーション文化学科

平成18年度に開設した文学部コミュニケーション文化学科は、2年目を経過した。

##### ロ) マネジメント学部生活環境マネジメント学科

平成18年度に開設したマネジメント学部生活環境マネジメント学科は、2年目を経過した。

#### 完成年度を迎える組織

平成18年度に開設した大学院マネジメント研究科は、今年度完成年度を迎えた。

#### 設置認可に伴う留意事項の履行

必要な専任教員人事について平成19年10月1日付けで補充した。

### 2) カリキュラムの改革

#### 平成18年度カリキュラムの年次進行

平成18年度カリキュラムは2年次まで進行し、1年生・2年生の2学年が平成18年度カリキュラムの下で授業科目を履修した。

#### 「進級」実施

平成18年度カリキュラムに基づき、平成20年3月に進級判定が行われ、所要の要件を充足した学生が3年次に進級した。

### 3) 平成20年度後期に茗荷谷キャンパスにおいて後期課程を行うための準備

#### 茗荷谷図書館の整備

平成20年度秋学期に向け、19年度夏休みに、閲覧室スペースの拡張工事を実施した。面積では約140m<sup>2</sup>増とし、閲覧席数は、206席とした。また、茗荷谷図書館の書庫が狭隘であるため、移動可能な分野の資料約6万冊を新座へ移した。「百人一首コレクション」については、新座図書館の特別資料室に移して保管した。

#### 情報処理環境の継続的整備

両キャンパス間ネットワークの情報流量増加及びサービスの多様化に対応可能なLANの構築、操作性の統一化と学生の利便性を考えたAV機器の設置、シンクライアントシステム導入による効率的なシステム運用可能なPC教室の整備。

### 4) 教員組織の改革

#### 教授・准教授・助教体制の発足

学校教育法の一部を改正する法律のうち「大学等の教員組織の整備」に係わる改正規定が平成19年4月1日に施行され、大学に置かなければならない職として、助教授に代え、「准教授」を設け、専任講師を「講師」に、助手を改め、「助教」を新設した。

#### 責任ある教員組織の確立

##### イ) 副学長常置

標記の件実施のため、学則第5条を改正した。

##### ロ) 学科主任制度の導入

標記の件実施のため、教授会規程第8条の2を改正した。

### 5) 教育研究支援体制の教化

#### 全学委員会としての教育・研究支援委員会の設置

国際交流・学術・FD等の教育・研究支援活動を全学的に推進していくために、大学評議会の下に、全学委員会として教育・研究支援委員会を設置した。

#### 教員評価の導入

教員組織検討委員会において教員評価制度についての検討を進め、平成20年2月27日最終答申が学長あて提出された。

### 6) 継続的FD活動

学部・研究科においてFD講演会・FDワークショップ等を継続的に実施した。また、FD実践報告集として「FDジャーナル」(第7号)を刊行した。

7) 短期大学の閉学に伴う事後対応 

短期大学部閉学に伴い、短期大学部の卒業生に対するサービスを大学の各部課において対応し、今後継承していく。

8) 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科と跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科との協定実施 

両大学院研究科との間で単位互換制度について合意し、平成18年10月19日(木)に学長名で正式に協定を締結し、協定書を交わした結果、平成19年度は、次の通り実施した。

## 単位互換協定の締結

平成19年4月1日より実行

## 新学会の設立

「21世紀社会デザイン学会」を平成19年6月24日に設立した。

## 「修士論文中間報告会」の相互参加

両大学院研究科が主催する「修士論文中間報告会」(本学)、「研究報告会」「研究状況報告会」(以上立教大学)に、院生が相互に参加した。

9) 埼玉県私立大学連絡協議会の継続 

埼玉県私立大学連絡協議会主催の坂東真理子氏講演会にあたり、埼玉新聞にマネジメント学部生活環境マネジメント学科の地域貢献の取り組みが紹介された。

10) 彩の国大学コンソーシアムの継続 

「単位互換分科会」・「公開講座分科会」に継続して所属。

## 彩の国大学コンソーシアム公開講座

9月21日(金) 15:00~16:10 於:川越福祉センター5階講堂

「古文書」に親しむ 講師:文学部人文学科泉雅博教授

## 学長会

3月10日(月) 於:東京電機大学鳩山キャンパス

## 実務者会

1月25日(金) 於:文京学院大学

3月10日(月) 於:東京電機大学鳩山キャンパス

## 公開講座分科会

1月25日(金) 於:文京学院大学

## 事務職員研修会

5月25日(金) 於:女子栄養大学

6月14日(木) 於:大東文化大学

10月25日(木) 於:埼玉工業大学

12月17日(月) 於:尚美学園大学

11) 文京区内大学との交流の模索 

平成19年度第1回文京アカデミー区内大学生涯学習担当者会議に担当者出席

日 時 平成19年6月28日(木) 10:00~

場 所 アカデミー文京 学習室

平成19年度第2回文京アカデミー区内大学生涯学習担当者会議に担当者出席

日 時 平成20年2月27日(水) 10:00~

場 所 アカデミー文京 学習室

12) 国際交流体制 

## 夏期海外語学研修

研 修 先 上海大学国際交流学院（中国上海市）

研 修 内 容 中国人の先生から中国語を学び、課外活動として中国書道や太極拳、中国書道などを体験した。週末には蘇州や杭州へ旅行した。

研 修 期 間 平成19年 8月5日～8月25日

参加学生数 16名

アクイナス大学（アメリカミシガン州）

研 修 内 容 自然環境の持続性が高い社会を創造し、運営していくための知識や手法を学び、施設見学等を行なった。週末はシカゴへ旅行した。

研 修 期 間 平成19年 8月18日～9月2日

参加学生数 21名

13) 新座市と跡見学園女子大学との連携協力に関する包括協定締結 

個別的な協力関係を包括的なものとし、パートナーシップを確立し、福祉・教育・文化・環境・防災など幅広い分野において、相互に連携・協力し、地域社会の発展や人材育成に寄与することを目的とし、新座市長と学長との間で連携協力に関する包括協定を交わすこととした。

14) 文京区との連携 

文京アカデミー区内大学生涯学習担当者会議に参加し、生涯学習分野で文京区と連携した取り組みの可能性を模索した。

15) 高等学校との交流（高大連携への対応） 

専任教員が高校へ出向いての出張講義を、18校延べ・22テーマで実施した。また、東京文化高等学校の「キャリアデザイントライアル」企画の一環として、同校生徒が本学において体験授業を受講した。

期日 平成19年10月17日（水）・18日（木）

人数 6名

授業数 6コマ

16) 大学基準協会に認証評価を申請 

平成20年度認証評価を受けるべく認証評価機関である財団法人大学基準協会に、自己点検・評価報告書を提出した。

## 17) 平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代G P）とは、現代的課題に対応できる人材養成と大学の多様な機能の展開を目的として、文部科学省が学生教育の質の向上など大学教育改革の取組を選定し、重点的に財政支援を行うものである。

テーマ1「地域活性化への貢献」

地元新座市の地域活性化を目的に「(有)ハイカラ」を通じて女子大生の視点を積極的に活用するマネジメント学部の実践教育の取り組みが評価されて平成17年度に選定され、今年度も引き続き支援を受けて実施した。

事業名称 『実践教育の場としての地域連携プログラム』

取組期間 平成17年度～平成19年度

平成19年度補助金 11,792,000円

## 18) 花溪記念資料館

## 企画展

平成19年 4月1日(月)～5月19日(土)

第一展示室 = 学びの園の花 跡見花溪展

第二展示室 = 新コレクション展

" 6月4日(月)～8月25日(土)

第一展示室 = テンペラルネサンス - 学生作品を中心に -

第二展示室 = 新コレクション展

" 9月25日(火)～11月4日(日)

第一展示室 = サクラの記憶 生きつづける標本の魅力

第二展示室 = デザイン・工芸実習展

" 11月19日(月)～12月21日(金)

第一展示室 = 中国宋代絵画展 - 原寸大複製による -

第二展示室 = 跡見 廉書会 O G書道展

平成20年 1月23日(水)～2月29日(金)

第一・第二展示室 = 博物館実習生による模擬展示

" 3月18日(火)～5月10日(土)

第一展示室 = 跡見花溪と書 跡見流の誕生

第二展示室 = 新コレクション展 2008

## 跡見花溪の作品の学外貸出し

借用希望者 財団法人 日本書道美術館

展覧会名 秋期特別展「書に見る近現代日本女流展」

会場会期 日本書道美術館

平成19年10月20日(土)～11月18日(日)

借用期間 平成19年10月18日(木)～11月28日(水)(作品)

平成19年10月12日(金)～10月31日(水)(写真)

借用作品・写真 イ) 跡見花溪「八十自寿誌」1軸と写真

ロ) 跡見花溪「道の栞」折手本1冊と写真

## 19) 文化庁『文化芸術による創造のまち』

新座市と大学が共同で立ち上げた「アトミ・アニメ・アート」プロジェクト

事業費 文化庁負担経費 984,000円

大学負担経費 477,000円

(新座市負担経費はなし)

合計 1,461,000円

## 20)「ATOMIアカデミック・インターンシップ」

マネジメント学部のゼミ受講者が全員参加した。全員が参加のインターンシップは日本の大学では初の試みである。

## 21) 公開講座

一般者を対象にして次のとおり実施した。

春学期(新座キャンパス)

イ) 語学コース「英会話・中国語会話」

平成19年 5月12日～7月14日 毎週土曜日 [全10回]

ロ) 教養コース「放送・ことば・コミュニケーション」

平成19年 6月9日～6月23日 毎週土曜日 [全3回]

ハ) パソコンコース「ホームページにチャレンジ」

平成19年 5月19日(土)・26日(土)

秋学期(新座キャンパス)

イ) パソコンコース「Excelにチャレンジ」

平成19年 9月29日(土)・10月6日(土)

ロ) 語学コース「英会話・中国語会話」

平成19年10月6日～12月15日 毎週土曜日 [全10回]

ハ) 教養コース「21世紀の持続可能な発展のために」

平成19年10月13日～10月27日 毎週土曜日 [全3回]

大学院マネジメント研究科公開講座(茗荷谷キャンパス)

「21世紀の社会をデザインする」

平成19年 6月9日～6月30日 毎週土曜日 [全4回]

22) 講演会・講習会

### 文学部

FD講演会

日 時 平成20年 2月27日(水) 16:40～18:10

場 所 2171視聴覚教室

講 師 川口昭彦氏(大学評価・学位授与機構理事)

FDワークショップ

第1回

日 時 平成19年12月19日(水) 14:40～15:10

場 所 1号館会議室

話題提供者 横山太郎講師

第2回

日 時 平成20年 2月5日(火) 15:30～16:30

場 所 1号館会議室

話題提供者 土屋博映教授

### マネジメント学部

FDワークショップ

第1回

日 時 平成19年 5月30日(水) 17:00～18:30

場 所 図書館視聴覚ホール

テーマ ・18カリ策定時の授業設置趣旨と実施予定計画

・「展開ゼミ」の実施方法および「実践ゼミ」との整合性

第2回(マネジメント研究科と共催)

日 時 平成19年 7月25日(水) 14:40～16:10

場 所 図書館視聴覚ホール

テーマ マネジメント研究科の将来像

## 第3回

日 時 平成19年11月21日(水) 14:40~16:00  
 場 所 図書館視聴覚ホール  
 テーマ 授業評価の有効活用

## 第4回

日 時 平成20年2月22日(金) 14:50~16:10  
 場 所 図書館視聴覚ホール  
 テーマ プロゼミにおける基礎力向上を目指して

## キャリアデザイン講演会

## 第1回

日 時 平成19年6月23日(土) 13:00~15:00  
 場 所 花蹊メモリアルホール  
 テーマ マスコミで働く女性たち  
 講 師 林 暁代氏(テレビキャスター)  
 小山佳奈氏(電通・コピーライター)  
 羽田 光氏(日経BP・記者)  
 馬立潤子氏(読売新聞文化事業部)

## 第2回

日 時 平成19年12月1日(土) 13:00~15:00  
 場 所 花蹊メモリアルホール  
 テーマ 自分らしい生き方を見つける~自分を知る~ビジネスを知る~社会を知る  
 講 師 森本千賀子氏((株)リクルートエージェント・リクルーティングプロデューサー)

## マナー講座

日 時 平成19年6月30日(土) 7月7日(土)  
 Aグループ13:00~15:00 Bグループ15:15~17:15  
 場 所 3256教室  
 対 象 マネジメント学部2年生以上の実践ゼミ等履修者

## 山本貞雄マネジメント学部長 最終講義

日 時 平成20年1月21日(月) 16:30~18:00  
 場 所 2171視聴覚教室

**人文科学研究科**

## 日本文化専攻主催 学外講演会「日本文化“再”入門」

## 第1回

日 時 平成19年5月26日(土) 14:00~16:00  
 場 所 にいざほっとぶらざ  
 講 師 神野藤昭夫教授  
 題 目 「日本文化と源氏物語」

## 第2回

日 時 平成19年11月17日(土) 14:00~16:00  
 場 所 にいざほっとぶらざ  
 講 師 奈倉哲三教授

題 目 「江戸文化終焉 - 錦絵に描かれた天璋院・和宮と江戸市民」

日本文化専攻主催 異文化交流フォーラム

第1回

日 時 平成19年7月7日(土) 13:00~16:00

場 所 2号館会議室

発表者 東京外国語大学大学院修士課程在籍  
大韓民国留学生1名・キルギス共和国留学生1名

題 目 「アジアと日本~留学生との意見交流を通して」

第2回

日 時 平成19年11月1日(木) 14:40~16:10

場 所 2号館会議室

講 師 呉松梅氏(國學院大學招聘研究員)

演 題 「中国における源氏物語の翻訳と研究」

日本文化専攻主催 FDワークショップ

日 時 平成19年12月12日(水) 13:00~14:30

場 所 2281教室

司 会 神野藤昭夫教授

テーマ 「日本文化専攻の視野をいかにして拡大していくか」

話題提供 泉 雅博教授「旅をすることによる視野の広がり」  
奈倉哲三教授「国際学会参加による新たなものの見方」  
倉石あつ子教授「体感する(できる)民俗」

## マネジメント研究科

FD講演会

日 時 平成20年1月8日(火) 18:30~20:30

場 所 アルカディア市ヶ谷

テーマ 「CSRとしての持続可能な資源の循環を考える」

講 師 イオン株式会社 上山静一氏

王子製紙株式会社 丸山泰弘氏

三菱マテリアル株式会社 山本幸雄氏

FDワークショップ

第1回

日 時 平成19年7月25日(水) 14:40~16:10

場 所 図書館視聴覚ホール

テーマ 「マネジメント研究科の将来像」

第2回

日 時 平成20年2月6日(水) 14:00~14:30

場 所 2号館会議室

テーマ 「大学院修士課程第4セメスターの評価と改善」

## 平成19年度心理教育相談所主催講習会

## イ) 一般対象講習会(全7回)

開催日	講師	テーマ
7月10日(火)	鶴 光代	こころとからだのリラクゼーション
7月17日(火)	宮岡佳子	更年期女性のこころと体
7月26日(木)	宮崎圭子	自己を知る - 心理アセスメント(査定)しよう! -
8月1日(水)	古池若葉	色のワーク:自分の家族イメージを探る
9月10日(月)	阿部洋子	察するところが作るコミュニケーション
9月11日(金)	遠山尚孝	拒食症と過食症
9月19日(水)	中野敬子	家族関係のストレス対処法

## ロ) 教員(新座市小学校・中学校)対象講習会(全3回)

開催日	講師	テーマ
8月3日(金)	藤澤伸介	ほんものの学力をめざして - 認知心理学からの提案 -
8月8日(水)	片野智治	構成的グループエンカウンター - ふれあい集団の機能 -
8月10日(水)	山口豊一	チーム援助の実践 - 学校心理学の視点から -

## 23) 学生による授業評価の実施

春学期末・秋学期末にそれぞれ兼任講師担当科目も含めてほぼ全ての授業で実施した。

## 24) 全部署への事務職員配置

責任ある事務処理体制を構築するために、全部署への事務職員の配置を行った。

## 25) 教育研究支援に関する事務組織の整備

教育研究支援に関する事務組織として、教育・研究支援担当(兼務職員4名)を置き、補助金・国際交流、大学評価、授業評価等に関わる実務を担当することとした。

## (2) 広報関係及び懇談会等関係

## 1) 桜まつり

一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」を実施し、観桜のために大学グラウンドを開放した。

開催日 平成19年4月1日(日)

会場 新座キャンパス

## 2) 進路指導教員対象大学説明会

高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

第1回 平成19年6月8日(金) 新座会場(本学・新座キャンパス)

第2回 平成19年6月11日(月) 茗荷谷会場(茗溪会館)

## 3) オープンキャンパス

開催日:平成19年 6月16日(土)

" 7月14日(土)、22日(日)、28日(土)

" 8月4日(土)、25日(土)

" 9月8日(土)

" 11月3日(土)、4日(日)

" 11月14日(土)

平成20年 3月30日(日)

参加者数総計：2,935名（高校生他1,828名、保護者他1,107名）

4) 跡見学園高等学校対象の大学説明会

開催日 平成19年 6月26日（火）

会場 跡見学園高等学校

5) 跡見学園中学校PTA主催による跡見学園女子大学見学会

跡見学園中学校PTA主催による保護者のための大学見学会を大学のオープンキャンパスの日に実施した。

開催日 平成19年 6月16日（土）

会場 新座キャンパス

6) 就職懇談会 

平成19年11月20日（火）企業の採用担当者を対象とする「学生参画型」の就職懇談会を実施した。理事長、学長ほか学生44名と就職担当教職員によるシンポジウムと懇談会を行った。

会場 跡見小講堂、茗溪会館

7) 入試アドバイザー制度 

この制度も今年度で8年目となり、入試アドバイザー（82名）による高等学校訪問（1,023校）、予備校訪問（46校）、短期大学訪問（28校）を行い、志願者の確保に努めた。

### (3) 施設設備・情報環境整備関係

1) 大学基幹業務システムの拡充（1,155,000円） 

履修登録申請、成績入力等、ポータルシステムを介しての業務範囲が拡大しているため、ポータルサーバーを増設してアクセス数の増加に対応した。

2) 短期大学部卒業生データの証明書発行サーバへの移行（2,061,885円） 

短期大学部卒業生の各種証明書を大学の証明書自動発行システムから発行出来るようにするため、データを証明書発行用サーバに移行した。

3) 新座図書館書架増設工事（14,700,000円） 

短期大学部閉学に伴い、短期大学部図書館の蔵書を配架するための増設工事を行った。

4) アスベスト対策工事（17,454,696円） 

大学茗荷谷1号館（東館）のうち、1階玄関ホール、2階ホール・ラウンジ・視聴覚教室、4階アトリエについて法令に従い石綿除去工事を行った。

5) バリアフリー化推進事業（10,447,500円） 

文部科学省の推進事業のひとつであるバリアフリー化整備推進事業として、大学茗荷谷1号館（東館）の出入口及び図書館出入口の自動ドア化を実施した。

6) 院生研究室空調機器更新工事（2,131,500円） 

大学新座1号館院生研究室として予定している1118・1119・1120の各院生研究室について、既設の空調機器が老朽化してきたため更新工事を行った。

7) 非常放送設備改修工事（5,617,500円） 

大学新座の非常放送設備について、設置から20年以上経過して劣化したため、非常放送アンプ、遠隔操作器等の交換工事を行った。

8) 屋上全面防水工事（22,260,000円） 

昭和57年に建築された大学茗荷谷1号館（東館）の屋上防水層の劣化が激しく漏水が発生したため、防水工事を行った。

## 9) 廊下塗装及び漏水修理工事(6,510,000円)

大学新座1号館は、昭和40年女子大学の開学に備えて建築した建物であるが、内部壁面の汚れ・変色が目立ち、漏水が発生してきたので、クラックの補修及び内側廊下壁面の塗装工事を行った。

## 10) 図書館改修工事

大学茗荷谷キャンパスは平成20年度の秋学期から、3・4年生が利用することに伴い、閲覧座席数の増加のための拡張工事を行った。

図書館(2キャンパス)の蔵書数確保など、3・4年生の授業を行うための環境整備

- 現図書館を含む2階南側の改修 - (17,220,000円)

視聴覚ホールラウンジ部分を閲覧室として利用 - 照明改修 - (1,312,500円)

出入口制御 - B D S (ブックディテクションシステム) 及び入館者システムの設置 - (5,47,500円)

## 11) ネットワーク機器移設工事(6,402,900円)

大学茗荷谷キャンパス1号館(東館)の拡張工事に伴い、同館2階コンピュータ室のネットワーク機器を1階事務室に移設した。

## 12) 仮設校舎の設置(6,160,000円 年間リース料)

平成18年度に新学科増に伴う学生数増加に対応するため、体育館脇駐車場に100名程収容出来る仮設教室を3室設置、3年リースで平成19年度は2年目にあたる。

## 13) 講堂舞台機構改修(1,060,500円)

新座キャンパスの講堂吊物固定吊ロープについて、長年使用により落下の危険性があったので、水引幕、ポーター、文字幕及びサスペンションライト等の交換工事を行った。

## 14) 浄化槽整備工事(3,629,850円)

浄化槽法により毎年1回の保守点検及び清掃が定められている。

## (4) 入試状況

## 1) 平成20年度入試結果(平成20年3月31日)

大学院

(単位:名)

研究科	専攻	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
人文科学研究科	日本文化	8	3	3	3	3	3
	臨床心理学	12	54	50	18	13	11
マネジメント研究科	マネジメント	15	4	4	4	4	4
合計		35	61	57	25	20	18

学部

(単位:名)

学部	学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
文学部	人文	360	757	729	690	461	438
	コミュニケーション文化	90	239	230	196	122	111
	臨床心理	120	295	290	191	139	133
マネジメント部	マネジメント	215	469	448	395	269	250
	生活環境マネジメント	80	145	141	139	85	73
合計		865	1,905	1,838	1,611	1,076	1,005

**(5) 修了者数・卒業者数・進路状況**

## 1) 平成19年度大学院修了者数

平成19年 9月30日付修了者

(単位：名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	-
	臨床心理学専攻	1
合 計		1

平成20年 3月18日付修了者

(単位：名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	6
	臨床心理学専攻	12
マネジメント研究科	マネジメント専攻	5
合 計		23

## 2) 平成19年度大学卒業者数

平成19年 9月30日付卒業者数

(単位：名)

学 部	学 科	卒業者数
文 学 部	国文学科	1
	人文学科	10
	臨床心理学科	1
	(計)	12
マネジメント部	マネジメント学科	8
合 計		20

平成20年 3月18日付卒業者数

(単位：名)

学 部	学 科	卒業者数
文 学 部	人文学科	421
	臨床心理学科	118
	(計)	539
マネジメント部	マネジメント学科	200
合 計		739

## 3) 平成19年度進路状況(平成20年 3月18日卒業者)

(単位：名)

卒業者数	就職希望者数	就職者数	内定率	進 学	その他
739	630	618	98.1%	51	70

## 4. 中学校・高等学校

( 印は平成19年度事業計画事業 )

### (1) 教育・研究関係

#### 1) 教育目標

生活指導

中学生は基本的な生活習慣の確立を、高校生は個性を伸張させるべく指導した。

学習指導

中学生は基礎学力の養成を、高校生は応用力の養成を目指し、指導した。

#### 2) 教員の教科指導力の向上

教員の教科指導力の向上

教員の相互授業見学ならびに意見交換を行った。

研究授業の実施

イ) 対象：高校2年生

教科：英語

日時：平成20年2月15日(金)

科目：英語演習(習熟度の低いクラス)

担当教諭：斎藤充

ロ) 対象：中学3年生

教科：英語

日時：平成20年2月15日(金)

科目：英語(習熟度の真ん中のクラス)

担当教諭：吉岡亜衣

校長による授業参観

全教諭の授業参観

全非常勤講師の授業参観

生徒による授業評価

生徒による教員の授業評価を外部業者に委託し、7月に実施。その後、結果データに基づき教科ごとの研修会を持った。数学科と理科は、12月にも授業評価をし、結果を以降の授業に生かした。

#### 3) 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力の向上

組織リーダーの養成のための研修

コアネット人材開発研修センター企画「私学次世代教育研究会」に5～7月、10～12月参加、「TALK研究会」に1月参加し、研修を受けた。

コミュニケーション能力向上のための研修「教師のためのカウンセリング基礎講座」に9月～11月参加した。

#### 4) 講演会

本校主催

対象：高1保護者

講師：柘中規男氏(河合塾)

月日：平成19年9月8日(土)

テーマ：「2年後の入試に向けて」

### カウンセリングルーム主催

対 象：保護者

講 師：平木典子氏（東京福祉大学大学院教授・前跡見学園女子大学文学部臨床心理学科教授・I P I所長）

月 日：平成19年12月17日（月）

テ ー マ：「思春期の子どもと家族関係」

### 中学1年 学年主催

対 象：中学1年

講 師：飯塚かよ子氏（文京区消費生活センター相談員）

日 時：平成19年11月1日（木）

テ ー マ：「消費生活講話」

### 中学1年 学年主催

対 象：中学1年

講 師：佐藤亜紀氏（グランドプリンスホテル高輪宿泊フロント担当リーダー）

日 時：平成20年1月24日（木）

テ ー マ：「おもてなし・心遣い」

### 中学2年 学年主催

対 象：中学2年

講 師：吉寄真紀子氏（ベネッセコーポレーション）

日 時：平成20年2月7日（木）

テ ー マ：「中高一貫校における学習状況について 中だるみの時期をどのように考え、乗り切るか」

### 中学2年 学年主催

対 象：中学2年保護者

講 師：吉寄真紀子氏（ベネッセコーポレーション）

日 時：平成20年2月22日（金）

テ ー マ：「中高一貫校生における学習状況について 保護者の立場から考える」

## 5) 体育祭の日程及び実施会場

女子大学新棟建築に伴う工事車両の出入りに必要となる工事エリアの確保のため、中学高校グラウンドの利用に制限がかかり、体育祭を実施することは無理な状況であったため、小石川運動場に会場を変更し実施した。

## (2) 広報関係および懇談会等関係

### 1) 塾対象学校説明会

平成19年9月11日（火）実施

### 2) 学校説明会

本校主催 学校説明会

6月16日	（土）	クラブ発表会	23クラブ参加
7月7日	（土）	第1回説明会	教員誘導による学校見学
9月11日	（火）	塾対象	
9月26日	（水）	第2回説明会	教員誘導による学校見学
10月22日	（月）	第3回説明会	教員誘導による学校見学

11月10日	(土)	第4回説明会	教員誘導による学校見学
11月24日	(土)	体験授業	全教科の予定
12月8日	(土)	第5回説明会	入試直前 教員誘導による学校見学

## 外部での共催説明会

4月29日	(日)	女子校アンサンブル	学習院大学
5月12日	(土)	東京私立女子中学校合同説明会	浦和コルソ
6月17日	(日)	東京私立女子中学校合同説明会	所沢くすのき
6月17日	(日)	文京区合同説明会	文京シビックセンター
7月8日	(日)	東京私立女子中学校合同説明会	渋谷セルリアンタワー
8月18日	(土)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
8月19日	(日)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
10月21日	(日)	池袋進学相談会	サンシャイン文化会館

## 外部での業者主催説明会

6月24日	(日)	受験なんでも相談会	新宿NSビル
7月1日	(日)	日能研 学校フェア	学習院大学、神奈川大学
7月18日	(水)	日能研 学校を知ろうの会	日能研 西日暮里校
7月31日	(火)	帰国生のための相談会	オリンピック記念青少年センター
8月1日	(水)	朝小サマーフェスティバル2007	新宿NSビル

## 塾主催の本校開催説明会

6月4日	(月)	S A P I X
6月9日	(土)	栄光ゼミナール
6月11日	(月)	四谷大塚
6月18日	(月)	市進学院
6月20日	(水)	T O M A S

## 本校校舎での模試

11月18日	(日)	四谷大塚模試会場
12月9日	(日)	四谷大塚模試会場

## (3) 施設設備・情報環境設備関係

1) 大アリーナ床面改修工事 (3,465,000円) 

長期使用に伴う床面損傷のため、アリーナ床及びステージ床の研磨及びワックス掛けによる補修を行った。

2) 用務員室空調機更新工事 (2,509,500円) 

長期使用による経年劣化が認められたため、空調設備の更新工事を行った。

3) 放送室音響改修工事 (4,651,500円) 

放送室の音響設備について、長期使用に伴う劣化が認められるため、改修・更新工事を行った。

4) 大アリーナ音響設備改修工事 (2,131,500円) 

経年劣化に伴う不具合が認められるため、更新工事を行った。

5) 空調機器等のファンが長年の使用により老朽化したため、整備・備品交換等の修繕を行った。

大アリーナ(No.1)系統空調機RAファン整備(285,600円)(税込)

大アリーナ(No.2)系統空調機RAファン整備(761,250円)(税込)

電気室系統排気ファン整備 (239,400円)(税込)

6) トイレ照明改修工事(3,979,500円)

トイレの照明は、天井への間接照明及びアトリウムからの採光により照度を確保しているため、雨天時は適切な照度が得られず薄暗い状態であった。その状態を解消するため光が直接床面を照らす直接照明に改修した。

7) 小講堂舞台照明改修工事(4,189,500円) 

舞台照明装置について、経年劣化に伴う不具合が認められるため、照明器具の改修工事を行った。

8) AED(自動体外式除細動器)(899,745円) 

重大な疾患による「突然死」、「熱中症」、「心停止」などに救急対応するため、校舎内に2台設置した。

9) 仮設倉庫の設置(1,005,375円) 

女子大学新棟の建設に伴い工事エリア内に位置する体育倉庫を取り壊し、臨時の仮設倉庫を跡見講堂の脇通路にレンタルで設置した。

10) アトリウムの手摺設置工事(1,155,000円) 

アトリウムの手摺高について高さを現在の120cmから150cmにして、安全対策の強化を図った。

11) 選択教室(401室)の机・椅子の入れ替え(486,780円) 

従来の少人数授業用の教室から一般教室への用途変更に伴い、机・椅子48セットを購入した。

#### (4) 中学入試状況

平成20年度

(単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
270	1,577	910	321	274

#### (5) 卒業者数・進路状況

1) 高等学校

平成19年度卒業者数(平成20年3月13日) 265名

平成19年度卒業生大学等合格状況

4年制大学【国公立】合格者数 8名

4年制大学【私立】合格者数 604名

短期大学 合格者数 11名

専門学校 合格者数 15名

留学 3名

2) 平成19年度中学校卒業者数(平成20年3月19日) 271名

# . 財 務 の 概 要

## 1 . 平成19年度跡見学園収支決算について

### (1) 資金収支計算書

#### 資 金 収 支 計 算 書

平成19年4月1日から

平成20年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,045,598,000	5,025,945,500	19,652,500
授業料収入	3,614,618,000	3,598,761,000	15,857,000
入学金収入	495,145,000	495,287,500	142,500
実験実習料収入	14,225,000	13,107,000	1,118,000
施設設備資金収入	858,622,000	855,466,000	3,156,000
冷暖房費収入	62,988,000	63,324,000	336,000
手数料収入	160,125,000	150,777,920	9,347,080
入学検定料収入	105,175,000	95,270,000	9,905,000
証明手数料収入	50,550,000	51,244,800	694,800
大学入試センター試験実施手数料収入	4,400,000	4,263,120	136,880
寄付金収入	175,000,000	179,706,760	4,706,760
特別寄付金収入	27,414,000	27,714,000	300,000
一般寄付金収入	147,586,000	151,992,760	4,406,760
補助金収入	723,190,000	719,475,281	3,714,719
国庫補助金収入	295,002,000	291,233,547	3,768,453
地方公共団体補助収入	422,652,000	421,997,734	654,266
都私学財団補助金収入	5,536,000	6,244,000	708,000
資産運用収入	41,000,000	57,404,980	16,404,980
受取利息・配当金収入	41,000,000	57,404,980	16,404,980
事業収入	126,541,000	120,201,155	6,339,845
補助活動収入	116,331,000	109,091,155	7,239,845
収益事業収入	10,000,000	10,000,000	0
受託事業収入	210,000	1,110,000	900,000
雑収入	84,179,000	145,596,344	61,417,344
雑収入	4,296,000	12,075,184	7,779,184
東京都私学財団交付金収入	23,383,000	48,716,760	25,333,760
私立大学退職金財団交付金収入	56,500,000	84,804,400	28,304,400
前受金収入	1,360,417,000	1,360,392,800	24,200
授業料前受金収入	554,274,000	569,485,000	15,211,000
入学金前受金収入	484,875,000	482,115,000	2,760,000

施設設備資金前受金収入	292,960,000	280,520,000	12,440,000
冷暖房費前受金収入	13,308,000	12,648,000	660,000
補助活動前受金収入	15,000,000	15,624,800	624,800
その他の収入	2,270,086,000	7,817,700,693	5,547,614,693
退職給与引当特定資産からの繰入収入	103,690,000	171,704,000	68,014,000
建物償却引当特定資産からの繰入収入	1,900,000,000	1,900,000,000	0
前期末未収入金収入	266,396,000	237,556,042	28,839,958
仮払金回収収入	0	99,125,371	99,125,371
前渡金回収収入	0	2,072,134	2,072,134
預り金受入収入	0	1,358,567,306	1,358,567,306
修学旅行費預り金収入	0	65,581,240	65,581,240
仮受金受入収入	0	3,983,094,600	3,983,094,600
資金収入調整勘定	1,474,076,000	1,581,097,145	107,021,145
期末未収入金	76,343,000	183,364,445	107,021,445
前期末前受金	1,397,733,000	1,397,732,700	300
前年度繰越支払資金	7,740,125,000	7,740,124,406	594
収入の部合計	16,252,185,000	21,736,228,694	5,484,043,694

( 単位 : 円 )

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,395,400,000	3,439,286,525	43,886,525
教員人件費支出	2,179,303,000	2,180,051,961	748,961
職員人件費支出	1,080,156,000	1,055,130,449	25,025,551
役員報酬支出	32,251,000	32,400,115	149,115
退職金支出	103,690,000	171,704,000	68,014,000
教育研究経費支出	1,083,144,000	965,757,732	117,386,268
準備品費支出	1,953,000	828,658	1,124,342
消耗品費支出	85,492,000	69,480,998	16,011,002
光熱水費支出	103,614,000	104,477,146	863,146
通信運搬費支出	22,104,000	19,773,127	2,330,873
福利費支出	22,834,000	21,536,274	1,297,726
出版物費支出	48,751,000	38,796,550	9,954,450
印刷製本費支出	47,622,000	39,981,913	7,640,087
旅費交通費支出	29,183,000	23,458,759	5,724,241
奨学費支出	28,317,000	27,033,100	1,283,900
修繕費支出	51,856,000	42,335,424	9,520,576
保険料支出	480,000	2,746,725	2,266,725
賃借料支出	173,765,000	159,421,428	14,343,572
受講料支出	2,427,000	1,293,461	1,133,539
諸会費支出	5,765,000	5,807,880	42,880

学生・生徒会補助金支出	3,839,000	2,853,231	985,769
広告費支出	3,808,000	3,341,979	466,021
会議費支出	544,000	244,189	299,811
食事費支出	10,199,000	7,729,767	2,469,233
支払手数料支出	10,260,000	5,478,483	4,781,517
教育実習謝礼支出	1,190,000	833,540	356,460
渉外費支出	3,482,000	2,601,493	880,507
業務委託費支出	425,253,000	385,468,200	39,784,800
雑費支出	406,000	235,407	170,593
管理経費支出	710,966,000	674,191,833	36,774,167
準備品費支出	241,000	230,242	10,758
消耗品費支出	33,231,000	19,109,698	14,121,302
光熱水費支出	21,118,000	20,037,517	1,080,483
通信運搬費支出	11,724,000	7,711,350	4,012,650
福利費支出	9,280,000	8,134,876	1,145,124
出版物費支出	3,469,000	3,067,465	401,535
印刷製本費支出	32,992,000	32,340,319	651,681
旅費交通費支出	17,773,000	16,102,300	1,670,700
修繕費支出	17,943,000	25,241,520	7,298,520
保険料支出	3,220,000	887,675	2,332,325
賃借料支出	131,601,000	131,754,147	153,147
受講料支出	842,000	319,600	522,400
公租公課支出	3,275,000	270,200	3,004,800
諸会費支出	7,642,000	7,044,885	597,115
広告費支出	102,109,000	102,067,127	41,873
会議費支出	1,805,000	1,446,162	358,838
食事費支出	5,364,000	3,471,467	1,892,533
支払手数料支出	9,642,000	9,055,389	586,611
渉外費支出	7,187,000	6,141,648	1,045,352
業務委託費支出	286,317,000	273,964,495	12,352,505
雑費支出	4,191,000	5,793,751	1,602,751
施設関係支出	2,339,573,000	2,588,836,825	249,263,825
建物支出	95,311,000	93,861,075	1,449,925
構築物支出	18,700,000	0	18,700,000
建設仮勘定支出	2,225,562,000	2,494,975,750	269,413,750
設備関係支出	34,895,000	34,518,106	376,894
教育研究用機器備品支出	5,888,000	6,663,067	775,067
その他の機器備品支出	4,439,000	4,520,300	81,300
図書支出	24,184,000	22,948,739	1,235,261
商標権支出	384,000	386,000	2,000
資産運用支出	700,000,000	700,000,000	0

退職給与引当特定資産への繰入支出	200,000,000	200,000,000	0
建物償却引当特定資産への繰入支出	300,000,000	300,000,000	0
法人維持特定資産への繰入支出	200,000,000	200,000,000	0
その他の支出	128,900,000	5,640,495,504	5,511,595,504
仮払金支払支出	0	106,422,270	106,422,270
前渡金支払支出	0	2,072,134	2,072,134
前払金支払支出	10,600,000	12,881,086	2,281,086
仮受金支払支出	0	3,983,094,600	3,983,094,600
預り金支払支出	0	1,351,619,998	1,351,619,998
修学旅行費預り金支出	0	65,581,240	65,581,240
前期末未払金支出	118,300,000	118,824,176	524,176
[ 予備費 ]	( 0 ) 50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	68,543,000	68,389,856	153,144
期末未払金	58,000,000	57,847,154	152,846
前期末前払金	10,543,000	10,542,702	298
次年度繰越支払資金	7,877,850,000	7,761,532,025	116,317,975
支出の部合計	16,252,185,000	21,736,228,694	5,484,043,694

資金収支計算書の目的は、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応する全ての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、また、その年度における資金の収入と支出の顛末を明らかにすることにあります。

平成19年度の収入の部の合計は21,736,228,694円でした。一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、13,974,696,669円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、7,761,532,025円となりました。前年度繰越支払資金が7,740,124,406円でしたので、支払資金の増減は、ほぼ横ばい(21,407,619円増)となっています。また、前受金1,360,392,800円(平成20年度入学者に係る学納金等の額)を除いた平成19年度における実質的な次年度繰越支払資金は6,401,139,225円となります。

なお、資金収支の全体規模は、平成18年度(15,718,891,291円)と比較して大幅に増えていますが、これは本年度より授業料等の学納金収納業務をシステム化したことに伴い、経過勘定として、その他の収入の中に仮受金受入収入の科目を、その他の支出の中に仮受金支払支出の科目をそれぞれ設定したことによるものです。

## (2) 消費収支計算書

### 消費収支計算書

平成19年4月1日から

平成20年3月31日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	5,045,598,000	5,025,945,500	19,652,500
授業料	3,614,618,000	3,598,761,000	15,857,000
入学金	495,145,000	495,287,500	142,500

実験実習料	14,255,000	13,107,000	1,118,000
施設設備資金	858,622,000	855,466,000	3,156,000
冷暖房費	62,988,000	63,324,000	336,000
手数料	160,125,000	150,777,920	9,347,080
入学検定料	105,175,000	95,270,000	9,905,000
証明手数料	50,550,000	51,244,800	694,800
大学入試センター試験実施手数料	4,400,000	4,263,120	136,880
寄付金	175,000,000	186,669,729	11,669,729
特別寄付金	27,414,000	27,714,000	300,000
一般寄付金	147,586,000	151,992,760	4,406,760
現物寄付金	0	6,962,969	6,962,969
補助金	723,190,000	719,475,281	3,714,719
国庫補助金	295,002,000	291,233,547	3,768,453
地方公共団体補助金	422,652,000	421,997,734	654,266
都私学財団補助金	5,536,000	6,244,000	708,000
資産運用収入	41,000,000	57,404,980	16,404,980
受取利息・配当金	41,000,000	57,404,980	16,404,980
事業収入	126,541,000	120,201,155	6,339,845
補助活動収入	116,331,000	109,091,155	7,239,845
収益事業収入	10,000,000	10,000,000	0
受託事業収入	210,000	1,110,000	900,000
雑収入	60,796,000	96,922,416	36,126,416
雑収入	4,296,000	12,081,934	7,785,934
私立大学退職金財団交付金	56,500,000	84,804,400	28,304,400
過年度消費支出修正戻入額	0	36,082	36,082
帰属収入合計	6,332,250,000	6,357,396,981	25,146,981
基本金組入額合計	1,240,377,000	1,448,174,487	207,797,487
消費収入の部合計	5,091,873,000	4,909,222,494	182,650,506

(単位：円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,319,037,000	3,390,195,205	71,158,205
教員人件費	2,179,303,000	2,180,051,961	748,961
職員人件費	1,080,156,000	1,055,130,449	25,025,551
役員報酬	32,251,000	32,400,115	149,115
退職金	0	500,000	500,000
退職給与引当金繰入額	27,327,000	122,112,680	94,785,680
教育研究経費	1,512,116,000	1,379,850,293	132,265,707
準備品費	1,953,000	828,658	1,124,342
消耗品費	85,492,000	69,480,998	16,011,002

光熱水費	103,614,000	104,477,146	863,146
通信運搬費	22,104,000	19,773,127	2,330,873
福利費	22,834,000	21,536,274	1,297,726
出版物費	48,751,000	38,796,550	9,954,450
印刷製本費	47,622,000	39,981,913	7,640,087
旅費交通費	29,183,000	23,458,759	5,724,241
奨学費	28,317,000	27,033,100	1,283,900
修繕費	51,856,000	42,335,424	9,520,576
保険料	480,000	2,746,725	2,266,725
賃借料	173,765,000	159,421,428	14,343,572
受講料	2,427,000	1,293,461	1,133,539
諸会費	5,765,000	5,807,880	42,880
学生・生徒会補助金	3,839,000	2,853,231	985,769
広告費	3,808,000	3,341,979	466,021
会議費	544,000	244,189	299,811
食事費	10,199,000	7,729,767	2,469,233
支払手数料	10,260,000	5,478,483	4,781,517
教育実習謝礼	1,190,000	833,540	356,460
渉外費	3,482,000	2,601,493	880,507
業務委託費	425,253,000	385,468,200	39,784,800
雑費	406,000	235,407	170,593
減価償却額	428,972,000	414,092,561	14,879,439
管理経費	752,480,000	721,095,311	31,384,689
準備品費	241,000	230,242	10,758
消耗品費	33,231,000	19,109,698	14,121,302
光熱水費	21,118,000	20,037,517	1,080,483
通信運搬費	11,724,000	7,711,350	4,012,650
福利費	9,280,000	8,134,876	1,145,124
出版物費	3,469,000	3,067,465	401,535
印刷製本費	32,992,000	32,340,319	651,681
旅費交通費	17,773,000	16,102,300	1,670,700
修繕費	17,943,000	25,241,520	7,298,520
保険料	3,220,000	887,675	2,332,325
賃借料	131,601,000	131,754,147	153,147
受講料	842,000	319,600	522,400
公租公課	3,275,000	270,200	3,004,800
諸会費	7,642,000	7,044,885	597,115
広告費	102,109,000	102,067,127	41,873
会議費	1,805,000	1,446,162	358,838
食事費	5,364,000	3,471,467	1,892,533
支払手数料	9,642,000	9,055,389	586,611

渉外費	7,187,000	6,141,648	1,045,352
業務委託費	286,317,000	273,964,495	12,352,505
雑費	4,191,000	5,793,751	1,602,751
減価償却額	41,514,000	46,903,478	5,389,478
資産処分差額	465,567,000	477,026,164	11,459,164
建物処分差額	459,187,000	470,148,373	10,961,373
構築物処分差額	0	3,000,873	3,000,873
教育研究用機器備品処分差額	2,980,000	2,435,874	544,126
その他の機器備品処分差額	1,000,000	375,166	624,834
図書処分差額	2,400,000	1,065,878	1,334,122
徴収不能引当金繰入額	0	31,935,500	31,935,500
徴収不能引当金繰入額	0	31,935,500	31,935,500
[ 予備費 ]	( 0 ) 50,000,000		50,000,000
消費支出の部合計	6,099,200,000	6,000,102,473	99,097,527
当年度消費支出超過額	1,007,327,000	1,090,879,979	
前年度繰越消費支出超過額	1,736,840,000	1,736,839,118	
基本金取崩額	0	492,880	
翌年度繰越消費支出超過額	2,744,167,000	2,827,226,217	

消費収支計算書は、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。

消費収入とは、学生生徒等納付金等、学校法人の負債とならない収入（帰属収入）から基本金組入額を控除して計算します。基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされています。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出の他、減価償却額等、資金の支出を伴わない支出も含まれません。

平成19年度の帰属収入のうち、学生生徒等納付金、手数料、補助金及び事業収入が予算額を下回りましたが、寄付金、資産運用収入及び雑収入が予算額を上回ったことにより、帰属収入全体としては予算をわずかに上回る6,357,396,981千円となりました。ただし、大学の新棟建設に係る基本金組入額が予算を大幅に上回ったため、消費収入の部合計は、予算を182,650,506円下回る4,909,222,494円となりました。

消費支出については、退職給与引当金繰入額が要因となり、人件費が全体で71,158,205円の予算超過となったほか、資産処分差額については11,459,164円の予算超過、徴収不能引当金繰入額についても、新たに31,935,500円の支出計上をしました。一方で、教育研究経費は132,265,707円、管理経費についても31,384,689円、それぞれ予算を下回ったため、消費支出全体では、99,097,527円予算を下回ることとなりましたが、消費収入の減額分を補填するまでには至らず、結局、消費収支については、予算に対して更に83,552,979円支出超過額が増え、1,090,879,979円となりました。

この額が前年度繰越消費支出超過額1,736,839,118円に加わり、そこから鶴原寮の閉寮に伴う基本金取崩額492,880円を差し引いた額2,827,226,217円が翌年度繰越消費支出超過額となります。

## ( 3 ) 貸借対照表

## 貸 借 対 照 表

平成20年 3月31日

( 単位 : 円 )

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	21,453,461,495	21,132,826,966	320,634,529
有形固定資産	17,520,538,532	15,828,535,086	1,692,003,446
土地	1,554,303,706	1,554,303,706	0
建物	10,334,818,964	11,095,558,510	760,739,546
構築物	237,136,182	272,778,878	35,642,696
建設仮勘定	2,532,449,350	37,473,600	2,494,975,750
教育研究用機器備品	275,858,376	307,784,407	31,926,031
その他の機器備品	49,167,067	48,348,976	818,091
図書	2,536,306,773	2,511,788,895	24,517,878
車両	498,114	498,114	0
その他の固定資産	3,932,922,963	5,304,291,880	1,371,368,917
敷金	100,000,000	100,000,000	0
電話加入権	13,566,079	13,566,079	0
商標権	357,051	21,968	335,083
収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
長期貸付金	103,000,000	103,000,000	0
退職給与引当特定資産	895,859,833	867,563,833	28,296,000
建物償却引当特定資産	1,273,700,000	2,873,700,000	1,600,000,000
備品償却引当特定資産	13,000,000	13,000,000	0
法人維持特定資産	1,530,440,000	1,330,440,000	200,000,000
流動資産	7,976,718,455	8,026,486,088	49,767,633
現金預金	7,761,532,025	7,740,124,406	21,407,619
修学旅行費預り資産	35,448,901	30,132,339	5,316,562
未収入金	155,030,721	241,157,818	86,127,097
仮払金	11,825,722	4,528,823	7,296,899
前払金	12,881,086	10,542,702	2,338,384
資産の部合計	29,430,179,950	29,159,313,054	270,866,896

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,849,804,992	1,850,179,552	374,560
退職給与引当金	1,849,804,992	1,850,179,552	374,560
流動負債	1,539,725,763	1,625,778,815	86,053,052
前受金	1,360,392,800	1,397,732,700	37,339,900
仮受金	8,199,600	8,199,600	0
預り金	77,837,308	70,890,000	6,947,308

修学旅行費預り金	35,448,901	30,132,339	5,316,562
未払金	57,847,154	118,824,176	60,977,022
負債の部合計	3,389,530,755	3,475,958,367	86,427,612
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	28,327,875,412	26,880,193,805	1,447,681,607
第4号基本金	540,000,000	540,000,000	0
基本金の部合計	28,867,875,412	27,420,193,805	1,447,681,607
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	2,827,226,217	1,736,839,118	1,090,387,099
消費収支差額の部合計	2,827,226,217	1,736,839,118	1,090,387,099
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部合計 及び消費収支差額の部合計	29,430,179,950	29,159,313,054	270,866,896

固定資産のうち有形固定資産については、大学の新棟建設に係る建設仮勘定が2,494,975,750円増加した一方、平成19年3月末を以って閉学した短期大学部校舎等の除却により、建物、構築物、教育研究用機器備品が合計で828,308,273円減少しました。その結果、その他の有形固定資産の増加分を含めて、1,692,003,446円の増加となりました。また、その他の固定資産については、新棟建設に係る建物償却引当特定資産の取崩しが主な要因となり、全体で1,371,368,917円の減少となりました。流動資産については、次年度繰越支払資金として現金預金が21,407,619円増加したものの、前年度末と比べて年度末退職者が減少したことに伴い、私立大学退職金財団等からの交付金に係る未収入金が86,127,097円減少したため、全体で49,767,633円の円の減少となりました。

負債の部のうち、固定負債の退職給与引当金は374,560円の微減でしたが、流動負債の前受金が、平成20年度入学者の減少が要因となり、37,339,900円の減少となったことに加え、未払金が減少したこともあり、負債の部の合計は、86,427,612円減の3,389,530,755円となりました。

基本金の部は、主として大学の新棟建設に係る組入額1,448,174,487円から、鶴原寮閉寮に伴う取崩額492,880円を差し引いた額1,447,681,607円が増加しました。

消費収支差額の部（翌年度繰越消費支出超過額）は、消費収支計算書における当年度消費支出超過額1,090,879,979円から基本金取崩額492,880円を差し引いた額1,090,387,099円が増加しました。

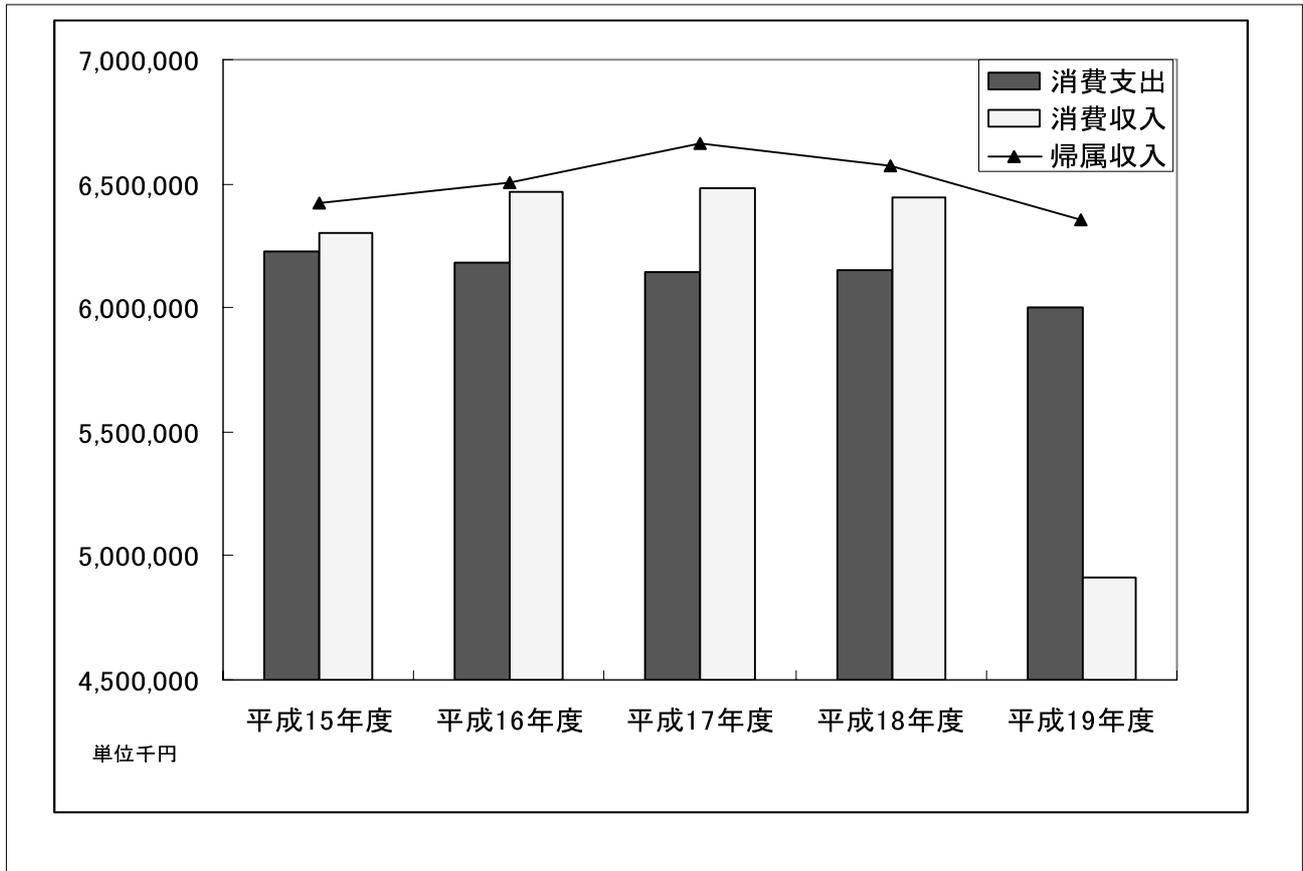
## (4) 財産目録

財 産 目 録  
平成20年 3月31日

I 資産総額	29,430,179,950 円
内 (一) 基本財産	17,520,538,532 円
(二) 運用財産	11,909,641,418 円
II 負債総額	3,389,530,755 円
III 正味財産	26,040,649,195 円

区分	金額
一 資産	
(一) 基本財産	
1 土地	232,847.96 m <sup>2</sup> 1,554,303,706 円
(1)校地	232,847.96 m <sup>2</sup> 1,554,303,706 円
2 建物	63,839.16 m <sup>2</sup> 10,334,818,964 円
(1)校舎	59,463.44 m <sup>2</sup> 9,970,773,567 円
(2)校外	2,626.07 m <sup>2</sup> 226,909,433 円
(3)法人棟	1,749.65 m <sup>2</sup> 137,135,964 円
3 教具、校具、備品	28,527 点 325,025,443 円
4 図書	494,488 冊 2,536,306,773 円
5 その他	2,770,083,646 円
(二) 運用財産	
1 現金預金	7,761,532,025 円
2 積立金	3,712,999,833 円
3 その他	435,109,560 円
総額	29,430,179,950 円
二 負債	
(一) 固定負債	
1 退職給与引当金	1,849,804,992 円
(二) 流動負債	
1 前受金	1,360,392,800 円
2 未払金	57,847,154 円
3 その他	121,485,809 円
総額	3,389,530,755 円
正味財産(資産総額 - 負債総額)	26,040,649,195 円

## 2. 過去5年間の収支決算の推移について



帰属収入

負債とならない収入

消費収入

帰属収入から基本金組入額を控除した収入で、消費支出に対応する収入

消費支出

消費する資産の取得価額及び用役の対価（人件費、消耗品、旅費交通費等）

### 3. 収益事業の概要

#### (1) 概要

収益事業部（以下「事業部」という。）は、専任職員2名により、中学校・高等学校の教科書、学用品及びスポーツ用品の販売並びに駐車場賃貸等が売上の中心となっている。

平成19年度は、短期大学部の閉学による書籍売上高の減少及び駐車台数減による賃貸料収入の減少により、売上総利益が前年度より減少した。一方、売上減に伴い学校法人への寄付金（次年度）を見送り、また委託管理先を変更したことに伴い駐車場の委託管理費が減少して、販売費及び一般管理費が減少した結果等により、当期純利益としては黒字となった。

#### < 事業部の年間業務 >

#### 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）

中高生教科書販売

ランチ販売

住宅・厚生貸付、生命保険、団体保険、損害保険代理店

駐車場賃貸

（以上は経常業務）

教師用教科書・指導書販売

#### 5月 中高生スポーツ大会飲料水販売

中学学校説明会、幹事会・父母会等飲料水販売

収益事業決算

#### 7月 中高生夏期休暇用教科書販売

中学学校説明会入試問題集販売

#### 8月 夏期休業

#### 9月 中高生新年度用教科書・教材問合せ準備

#### 10月 中学高校体育祭飲料水販売

中学高校文化祭食堂出店・入試問題集販売

中学学校説明会入試問題集販売

#### 11月 中高生新学期用教科書入荷

中高生用副教材発注準備・教師用指導書発注

中学学校説明会入試問題集販売

#### 12月 中高生新学期用教科書入荷

中学学校説明会入試問題集販売

#### 1月 中学帰国生入試関係準備

中高生新学期用副教材の発注

#### 2月 中学入試期間物品・飲料水等販売

中学新入生教科書・教材販売

中高在校生教科書申込・集計等

#### 3月 中高在校生教科書販売

中学高校卒業式物品・飲料水等販売

中高生新学期用物品等準備

予算編成

## (2) 貸借対照表について

資産の部合計	127,732千円で、前年度比 6,078千円の減
負債の部合計	126,665千円で、前年度比 7,983千円の減
純資産の部合計	1,066千円で、前年度比 1,904千円の増
負債・純資産の部合計	127,732千円で、前年度比 6,078千円の減

となった。これは売上減により学校法人への寄付金を見送った結果、未払金がなくなったことによるものである。

## (3) 損益計算書について

売上総利益は前年度より 5,595千円減少したが、学校法人への寄付金を見送って販売費及び一般管理費が前年度比で 9,858千円の減少となったので、経常利益と特別利益とを合わせた税引前当期純利益は1,904千円となった。この結果、前年度繰越利益剰余金が 3,838千円あるので、最終的に平成19年度の繰越利益剰余金期末残高は 1,933千円の赤字となった。

平成19年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	121,832,200
固定資産	5,899,919
資産の部合計	127,732,119
負債の部	
流動負債	22,090,563
固定負債	104,575,000
負債の部合計	126,665,563
純資産の部	
資本金	3,000,000
剰余金・欠損金 (繰越利益剰余金)	1,933,444
純資産の部合計	1,066,556
負債・純資産の部合計	127,732,119

平成19年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)

経常損益の部	
営業損益	
営業収益	81,277,150
営業費用	50,267,080
売上総利益	31,010,070
販売費及び一般管理費	31,877,717
営業利益	867,647
営業外損益	
営業外収益	1,751,839
経常利益	884,192
特別損益の部	
特別利益	1,020,500
税引前当期純利益(損失)	1,904,692
法人税・住民税及び事業税	0
当期純利益(損失)	1,904,692
繰越利益剰余金期首残高	3,838,136
繰越利益剰余金期末残高	1,933,444

## 監 査 報 告 書

平成20年5月23日

学校法人 跡見学園  
理 事 会 御 中  
評 議 員 会 御 中

学校法人 跡見学園

監事 金井塚 清   
監事 塩谷 睦夫 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第10条の規定に基づき、平成19年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

## 1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（角論、杉山七美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

## 2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上